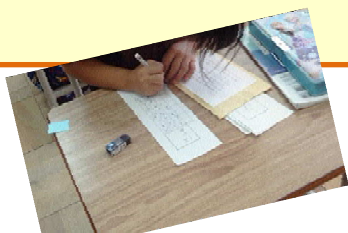


指定校連携授業力アップ講座「国語」を開催しました

日時：平成 27 年 10 月 7 日(水) 場所：亀岡市立本梅小学校 受講者：22名

指定校連携授業力アップ講座は、管内の児童生徒の学力課題を踏まえた優れた授業実践や授業改善に向けた方策を管内小・中学校に広く普及し、教員の指導力、授業改善に向かう意欲の向上を図るとともに児童生徒の学力向上を目指す新規の事業です。第1回目は、京都丹波の教育推進事業 学力向上研究指定校である亀岡市立本梅小学校と連携し、国語科「書くこと」の領域における授業をもとに講座を開催しました。

併せて本梅小学校の研究推進計画に基づく授業研究会(事後研)を本梅小学校の先生方とともに体験し、研究指定校の研究からも学ぶ機会としました。



短冊カード(原稿用紙)

<公開授業>

「よく見てかこう『しらせたいな、見せたいな』」(1年生)

亀岡市立本梅小学校 谷 きよみ 教諭

本單元における中心となる指導事項は、「取材」「記述」「推敲」の3点です。そのために選定した単元を貫く言語活動は、『京都水族館で見つけた生き物のことを書いて家の人に知らせよう【観察文】』でした。1年生の指導事項を確実に身に付けさせるための授業改善の主なポイントとして、

- ①児童が学習に見通しと意欲を持つモデル文の提示
- ②絵を活用した簡潔な取材メモ
- ③短冊カード(原稿用紙)と封筒の活用
- ④何度も読み返すための「推敲カード」と付箋を活用した推敲がありました。

入学から半年、まとまった量の文を書くことに挑戦する初めての単元でしたが、教材文を活用し、課題を解決しながら意欲的に学習する児童の姿が見られました。

<授業研究会(事後研)>

授業参観の視点に基づく気づきを付箋に書き、まずは一人一人が十分発言できる少人数での研究協議を行いました。その後、協議の内容をまとめた模造紙を活用し、全体での交流をするのが本梅小学校の事後研究会のスタイルです。この日は、授業に対する小学校・中学校それぞれの立場からの発言で協議が一層深まりました。

<受講者の感想>

・1時間の学習内容がはっきりしていて、見通しを持って学習にむかえることの大切さを改めて認識しました。(小学校)

・小学校1年生ですのに、多くの先生の前で集中でき自分の発表ができてことに驚きました。小学1年生が推敲という活動をしているのを見て、中学でも過程を大切に学習させることが必要だと再確認できました。(中学校)



少人数での研究協議